

# 平成22年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

高齢者や地域の住民が利用する施設として、安全かつ安心して利用して頂けるように施設整備の保守・感染症防止対策などを講じてきました。また確実な事業実施及び快適な利用に向けてメンテナンスを定期的を実施しています。諸設備の定期点検・定期清掃を行い、施設内を快適にご利用いただけるように努めてきました。

#### イ 効率的な運営への取組について

委託料について、人件費・事業費・事務費等の全てに渡り、物品等の購入の必要性を考慮し、適切な事務手続後、購入するなど無駄な出費を抑え、常に効率的な運営に心がけてきました。また各事業の目的を十分理解し、その特性が活かされるよう取り組みました。労務・経理は法人本部と連携を図り、事務の効率化に努めました。

#### ウ 苦情受付体制について

プラザが実施する事業について、利用者から苦情があった場合は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応してきました。

苦情担当職員は、管理者等に連絡しました。必要に応じて苦情調査検討委員会を開催しています。そこで事実関係や改善策を検討しました。その結果はご利用者に分かりやすく説明をしました。

法人としても第三者委員会を設け、職員間でも業務の振り返りや見直しを行い、改善をしてきました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

プラザでは、プラザ・養護・特養の3施設が、消防計画及び火災対策マニュアル・地震防災マニュアルに基づき一体的に対応しました。また災害時における在宅要援護者の特別非難場所として避難場所・備蓄物資の提供をする体制にしています。

防災訓練には積極的に参加し、日頃から適切な対応ができることを目指しました。また今年は横浜市の協力のもと、土砂災害を想定した防災訓練も実施しました。

#### オ 事故防止への取組について

安全対策については、予め危険なものを排除するなどハード面の対策を実施するとともに、経験やヒヤリハットの情報を共有することにより、事故の危険を事前に察知し、必要な安全対策を講じてきました。

また、ミーティングでの打ち合わせやインシデントシートを活用することを通じ、職員に周知し、常にリスクマネジメントに意識を持たせました。

事故対策委員会も立ち上げ定期的な事例検討も行ってきました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人の権利利益を損害することのないよう、個人情報を適正に取り扱ってきました。

新職員には研修を実施し、誓約書を市に提出してきました。

職員は、常に他施設の類似の事例を通じて、振り返りをしてきました。

マニュアルの見直しも随時行いました。

個人情報保護基本規則及び同対策マニュアルに基づき、適切な実施に努めてきました。研修を通じて職員に常に意思づけ、施錠の徹底も行ってきました。

#### キ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じました。

法人のリニューアルしたホームページを活用して地域の方に情報をオープンにしました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群・科学物質過敏症の対策として公共建築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々換気を行い、工事の際には、必要な対策をとるなど適切に対応・維持してきました。

ごみの分別、節電・節水をスタッフに周知徹底し実行しました。

車両は必要最低限に使用し、主な移動は自転車を使用しています。

### (2) 職員配置・育成について

#### ア 職員体制について

実施要綱・人員配置基準に基づき資格要件を満たした専門職員を適切に配置しました。

#### イ 職員の研修計画について

朝夕のミーティング及び職種毎の会議、またプラザ全体における部内研修、更に法人全体での研修会（年1回）を開催し、必要な研修及び情報提供等積極的に参加を促してきました。また、非常勤職員にも研修参加を促しました。

各自スキルアップのための目標を設定し、それに基づいて研修を受けてもらっています。

OJT・OFF-JT いずれも支援しました。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

各事業の特性に鑑み、区各部署・社会福祉協議会・その他サービス提供事業者等との綿密な連携に努めてきました。

地域小中学校から福祉体験学習を受け入れました。

看護学校・福祉学校からの実習生を受け入れています。

事業によって共催・事務局となり、地域の福祉貢献に努めました。

#### イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

自治会、民生委員・児童委員の会合に参加させて頂き、プラザの役割や自主事業の紹介を行いました。また地域の為のプラザであることを周知するよう年4回発行している広報紙・自主事業のチラシを配布するなど取り組みました。また、参加させて頂く上記の場において、情報収集にも努めてきました。プラザまつりでは、プラザの福祉保健活動の拠点であること等をPRしました。

#### ウ 地域福祉のネットワークの構築について

地域活動交流としては、地域包括支援センターと連携し、自治会、民生委員・児童委員、地域団体の会合に参加させて頂き、関係作りに努めてきました。また、支えあいネットワークの拡大に取り組んでいます。

また、既存の支えあいネットワーク、第6地区子育て分科会の活動紹介等を地域の子育てグループ・団体に行いネットワーク拡大に努めてきました。

ボランティア分科会に参加し、積極的に関係者との情報交換を実施しました。

#### エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

様々な相談事業や介護保険サービスの提供や地域に出向き、出張教室などを開催することなどを通じて地域の方からのご意見を伺い、それから見えてくる地域の課題とともに考え解決していくことを目指してきました。

予防支援事業を行いました。

#### オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域活動交流と地域包括支援センターは連携し、地域ニーズに合った自主事業の企画・運営に取り組みました。

同室内に各部門があるため、日常的にも情報交換を行っています。

また毎朝のミーティング、月2回の定例ミーティングを行うことにより地域活動交流と地域包括支援センターの協働を常に保つよう努めてきました。

## ● 地域活動・交流事業

### ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

高齢者が比較的多い地域であることから、包括支援センターと連携し、民生委員・児童委員、老人会、地域団体が主催する催しに参加し、情報交換を通じてニーズ把握に取り組みました。また、プラザの役割や介護予防の自主事業の紹介を行っています。

### イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

地域の活動団体にプラザの貸室を利用して頂けるよう、隔月発行している広報紙でPRを行ってきました。また、参加させて頂いた地域の会合の場においても利用を促すよう取り組みました。

### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 6月23日（水）

- 議題
- ・新役員紹介
  - ・平成21年度事業報告
  - ・平成22年度事業計画
  - ・新任職員紹介
  - ・質疑応答

第2回 12月8日（水）

- 議題
- ・平成22年度事業経過報告
  - ・他

### エ ボランティア育成及びコーディネートについて

貸室利用団体のボランティア活動支援や活動のコーディネートを行いました。また、プラザで活動して頂いているボランティアのスキルアップ講座の開催に取り組みました。発行している広報紙にボランティア募集記事を掲載し、登録増に努めてきました。

### オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

プラザを多様な世代の地域住民・団体に利用して頂けるよう広報紙・講座等で周知を行いました。また、参加させて頂いた自治会・民生委員・児童委員・老人会の会合の場においても利用を促すよう貸室の機能等の周知に取り組んでいます。

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域包括支援センターと連携し、地域のニーズを把握しながら自主事業の企画・運営に努めてきました。運営においても、利用者・ボランティアからの意見（アンケート）等と伺いながら取り組んでいます。新たに企画している「ふみの会」「みんなで歌おう」については自主的なグループとして活動できるよう運営・支援に取り組みました。

キ 区行政との協働について

プラザ連絡会や区主催の会議等に参加し、区と協力しながら西区福祉保健計画の推進に努めました。また、地域住民が集まるケアプラザ祭の場において西区福祉保健計画のPR・推進に取り組みました。

## ● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域の会議・食事会・事業・プラザ祭り実施時に、地域包括支援センターの役割をお話し、チラシを配り何か困った事があればすぐに相談できる体制にある事をお伝えし、周知に努めてきました。

積極的に出張出前講座を行い、地域包括支援センターの役割説明や案内に努めました。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

地域の健康教室に参加し、独居や高齢者世帯の高齢者に対し運動プログラムを実施し、要介護状態にならないよう予防に努めました。

出張出前講座にて介護予防について説明し、また介護予防体操を行い、地域住民に介護予防の大切さを知ってもらうよう配慮してきました。

地区別懇談会に出席し、地域のニーズを把握するために情報を収集し、課題を把握しできるだけ解決できるように取り組んできました。

介護予防講座を実施し、一般高齢者に対して介護予防のきっかけ作りを行ってきました。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

地域の民生委員と連携し、閉じこもりがちな高齢者宅へ訪問して、状態が悪くならないよう支援に努めてきました。

利用者に対ししっかりと予防サービスについての説明をし、要介護状態とならないよう、かつ自身で出来る部分はできるだけ自分で行えるような介護予防プランを作成し、在宅生活を支援しています。

#### エ 総合相談・支援事業

当プラザに来られない方のためにも、各地域で出張相談（出前講座）を行い、潜在的な問題把握と、幅広い方が相談を受けられるよう努めました。  
地域の会議に定期的に出席することで、民生委員やシニアリブインの相談員との連携を強化し、地域の独居高齢者の相談などをスムーズに対応できるように努めています。

#### オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

高齢者の虐待の恐れがあるケースは、早い段階で担当ケアマネジャー・区と連携をし、情報を共有しながら問題解決へ努めました。

西区が主催する「サポートネット」において事例提供し、専門職としての知識・技術の向上に努めています。

西区包括共催で権利擁護の講座を行い、地域に向けて啓発活動を実施しました。

#### カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

「顔のみえる関係作り」の土台を構築する手段として、積極的な民生委員との連携、地域の会議への出席に努めました。

ケアマネジャーの相談や関係機関からの情報提供があった場合、包括カンファレンスでの検討や担当者会議の開催（包括からのバックアップの参加）に努めてきました。  
西区包括共催で、ケアマネジャー支援の為の研修を毎月行っています。

#### キ 介護予防事業

体力向上プログラムにおいては地域交流と協働し宣伝活動につとめ、参加者の増加を目指してきました。また各町内会にも積極的に出向き、地域住民の方に対する事業の周知に努めています。

ク 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》地域包括支援センター

看護師 1名  
主任ケアマネジャー 1名  
社会福祉士 1名  
介護支援専門員 1名

《目標》

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●介護予防支援のマネジメント業務に関して、実費負担なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

フットワークの軽さをモットーにしています。  
気軽にご相談ください。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
130	131	135	134	139	135
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	137	139	132	132	130

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （経過的要介護） 698円
  - （要介護1） 768円
  - （要介護2） 885円
  - （要介護3） 1,002円
  - （要介護4） 1,119円
  - （要介護5） 1,236円
- 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:05

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	3名	運転兼業務員	4名
看護職員	4名		
介護職員	11名		

《目標》

介護を必要とする高齢者を対象に、健康チェック・入浴・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんでいただくこと

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。  
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
774	786	749	802	833	766
10月	11月	12月	1月	2月	3月
806	775	739	642	649	796



## 介護予防通所介護事業

### 《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 2,408円
  - （要支援2） 4,656円
- 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:05

### 《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	4名	運転兼業務員	1名
看護職員	3名		
介護職員	15名		

### 《目標》

自立支援—できることの能力を最大限に活かすお手伝いをします。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っています。  
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

### 《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	19	18	19	19	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	18	17	17	15	17

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務）	1名
介護支援専門員（常勤専従）	3名
（常勤兼務）	1名

《目標》

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助をめざします。

住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたします。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援をめざします。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上をはかります。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
107	112	113	126	129	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131	133	134	131	129	130

<以上>

# 平成22年度 自主事業報告書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供。	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認及び趣味作り。交流の場と福祉保健に関する情報提供。	毎月第4水曜日 (1・8月を除く) 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！」	こどもの健全な育成の為の支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ。	0～2歳 毎月第1水曜日 (1・8月を除く) 年10回 2歳～未入園児 毎月第2水曜日 (1・8月を除く) 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ！」の活動の支援。子育て支援「親子であそぼ！」の計画・準備・実施。	概ね毎月第1・2水曜日 (1・8月を除く) 年20回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男の料理教室	料理を通じて地域の男性の仲間作りと、趣味作りの場の提供。	第2日曜日 年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング講座	認知症予防。音読・計算・漢字の書き取り・簡単な体操。	毎月概ね第2,4火曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは調理場提供・配達業務補助を行う。	毎月第1～4金曜日 年48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もくよう会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2,4木曜日 年24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
虹の会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2,4木曜日 年24回

# 平成22年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふみの会	独居高齢者の社会的交流・ボランティア育成。外出できない高齢者に手紙を送り、社会とのつながりの意識付けを図る。「ふみの会」に携わるボランティアの育成。	毎月第4金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	同じ趣味をもった仲間同士のネットワーク作り	第4月曜日 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざなみ歌の会	社会的交流・仲間作りの場（閉じこもり防止）。童謡唱歌等を参加者みんなで歌う。	毎月第4月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホームパーティー であそぼ!	男性を含めた親同士の交流の場の提供。集団遊びや読み聞かせを行う	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
浅間台地域ケア プラザ祭り	ケアプラザの周知と地域交流事業の紹介	10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

## 平成22年度 自主事業収支決算書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者	255,471	158,271	97,200		255,471	
	337人						
	400円						
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者	34,867	19,867	15,000	19,998	14,869	
	110人						
	200円						
親子であそぼ！	未入園児・保護者	33,656	33,656	0	9,999	23,659	
	568人						
	0円						
脳いきいきトレーニング講座	地域住民	0		0		0	
	527人						
	0円						
ふみの会	高齢者・地域住民	20,693	20,693			20,693	
	104人						
	0円						
さざなみ歌の会	地域住民	28,515	8,715	19,800	26,664	1,851	
	148人						
	200円						
男の料理教室	男性地域住民	30,054	15,554	14,500	8,888	21,166	
	46人						
	500円						
絵手紙教室	地域住民	26,664	6,564	20,100	26,664		
	67人						
	300円						
ホームパーティーであそぼ！	未入園児・保護者	11,172	9,172	2,000		11,172	
	34人						
	大人1人200円						
第3回浅間台地域ケアプラザ祭り	地域住民	229,696	181,346	48,350		229,696	
	432人						
	0円						
スキンタッチとママつぼセラピー	未入園児・保護者	3,222	3,222	0	3,222		
	65人						
	0円						
みんなであそぼ！	未入園児・保護者	9,280	4,830	4,450		9,280	
	99人						
	50円						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成22年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：浅間台地域ケアプラザ

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	15,492	22,427	298	0	0	0	0
	介護保険収入				7,249	20,082	73,796	8,802
	その他	0	0	0	144	1,218	11,553	0
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)							
	経常活動収入(職員等給食費収入・処遇改善交付金他)				144	199	3,156	
	経常活動収入(利用者等利用料収入・認定調査料他)					1,019	6,049	
財務活動等(借入金元金償還補助金収入)						2,348		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>15,492</b>	<b>22,427</b>	<b>298</b>	<b>7,393</b>	<b>21,300</b>	<b>85,349</b>	<b>8,802</b>
支出	人件費	12,602	20,514	0	0	17,323	47,913	0
	事務費	851	901	0	105	866	10,052	0
	事業費	384	607	298	0	0	0	0
	管理費	1,506	405	0	0	0	10,828	0
	その他	149	0	0	2,665	602	7,488	0
	経常活動支出(交流事業人件費消費税・予防プラン委託料他)	630			2,665	213	1,177	
	固定資産取得支出					389	41	
財務活動(一般会計収支超過額・借入金元金償還金支出他)	-481					6,270		
	<b>支出合計(B)</b>	<b>15,492</b>	<b>22,427</b>	<b>298</b>	<b>2,770</b>	<b>18,791</b>	<b>76,281</b>	
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,623</b>	<b>2,509</b>	<b>9,068</b>	<b>8,802</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託した場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。